

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党東部地区委員会・松江市袖師3-6 電話24-2456

島根原発事故に対応できるのか？

実効ある避難計画を

原発エネ連、県と意見交換会

県の担当者も参加して、原子力災害に備えた島根県広域避難計画に関する意見交換会が、このほど松江市内で行われました。「島根原発・エネ



ギ一問題県民連絡会」(エネ連)の要請に県の担当部署が応えたもので、県からは防災部島田範明次長はじめ5名が出席しました。(写真)

エネ連は昨年2回にわたって「原子力災害に備えた島根県広域避難計画」に関する公開質問を県知事に行ってきた。

県の回答では、移動手段を持たない人のためのバスの手配は、運転手の被曝の問題などもあり進んでいない。福祉施設、病院、在宅要支援者のための移動手段は、台数が絶対的に不足している。そのため国も交え



松江民商が「新春会」開く 岩田 島根1区 予定候補 市議候補らが参加

松江民主商工会(諸遊克己会長)の新年会が松江市内で開催され、会員ら40人が参加しました。(写真)

諸遊会長はトランプ大統領の大統領就任やアベノミクス経済問題にふれ、景気回復させるために政治の転換、民商の発展をと挨拶しました。

来賓として日本共産党の岩田たけし衆院予定候補、片寄直行・吉儀敬子松江市議、田中はじめ松江市議予定候補が参加。尾村利成県議が代表し

て現在検討中。また、南の風が吹けば放射能の直撃を受け、隠岐諸島2万人の移動手段は事実上お手上げ状態になっています。

東出雲「元気会」が新年集い 岩田 島根1区 予定候補 吉儀市議があいさつ

後エネ連事務局メンバーからの問題提起に、その後会場からの質問に県の担当者が答えました。広域避難計画はいまだ道半ばであり、このような状況下での島根原発の再稼働などありえないと、改めて確信させる意見交換会でした。

えました。

続いて吉儀敬子市議が、この4年間、錦新町の浸水対策や意宇川の鯉のぼり復活に取り組んだこと、共産党の3議席で議案提案権を持ち、活動が大きく広がり、松浦市政と

1月19日、東出雲町日本共産党後援会「げんき会」が松江市内で開催(写真下)され、小笹和子会長が、合併前の2003年以来的活動の歴史を紹介。目前の市議会議員選挙、今年度中にも予定される衆議院選挙で党の躍進を訴

トランプ政権、さらに負担増を要求
日本全体が沖縄化される!

空中給油機の配備で
オスプレイ墜落は美保基地でも...
沖縄の問題は、島根の問題に...

今、必見の映画です 「戦場ぬしみ」 いくさばぬとうどうみ

2月19日(日) 13:30~
松江・プラバホール大会議室 800円

主催・沖縄と連帯する島根の会、島根革新懇
問い合わせ・0852-25-5347 中林



対決してきたことを報告。岩田剛衆院島根1区予定候補は、日本共産党第27回大会に参加した感動を語り、安倍暴走政権を終わらせるために日本共産党の躍進と市議会議員選挙で党議員の3議席確保を訴えました。

民青同盟が県代表者会議

田辺美帆委員長ら選出

民青同盟県委員会は1月22日、出雲市で「第61回県代表者会議」を開きました。

日本共産党から後藤勝彦委員長、大國陽介県議があいさつし、「みなさんと力を合わせ、青年を苦しめる今の政治を共同の力で一緒に変えていこう」と呼びかけました。

会議では、憲法学習会や平和ツアー、青年の労働調査や学費・奨学金調査などに取り組む決議案を採択しました。そして、「二人一人を大切に広く深く青年と結びつき、支えあい行

動しよう！」のスローガンのもと、大きな民青をつくるために、みんなで力を合わせて

いくことを確認し合いました。新役員には、委員長に田辺美帆さん、副委員長に山崎哲平さん(民青同盟中央委員)、亀谷優子さんを選出しました。

なつかしい歌、平和の歌…
いっしょに歌ってみませんか。

うたごえカフェ

2月18日(土)18:00~20:00

喫茶「ベーシック」(下記)

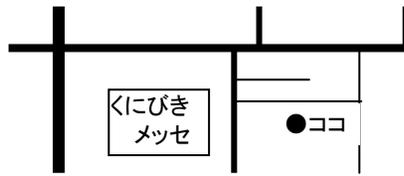
0852-24-8794

参加費・300円

(ドリンク代別)

主催・県労働者学習協議会

090-8995-2135 吉儀



至 くにびき大橋

ずいそう

市民とともに歩んで…



災害に強い町づくりを

橘 祥朗

1月23日からの数日間は、大雪、それも溶けにくい雪で、車両も歩行者も通行に困難をきたしました。

我が家から幹線道路までのわずかな道でさえも雪かきは大変でした。

八束町では、6年前の教訓で、幹線道路の除雪は順次作業がおこなわれ、また支所に一台配備された除雪

車も活躍しました。しかし、除雪契約している建設業者も減り、生活道路全てには行き届きません。

勤労者が増え、高齢者と子供だけが家庭に残る現状では、どうしても行政に頼ることにあります。車道だけでなく歩行者の視点からの除雪対策が必要です。

そこで、①住民が除雪し

てほしいと望んでいる道路を把握しておく②いつまでもどこまで除雪できるかを住民に周知させる③農機具など転用できる機材の持ち主の協力体制を作る④自治会などの除雪機の購入補助制度を作り、地域での除雪作業を支援する—など防災費用を増やすよう、私は行政に要望していきます。

自然災害は何が起こるか分かりません。行政がどこまで出来るか、地域でどう助けあえるか、大いに話し合いを進め、災害に強い町づくりを進めていきたいと思えます。

まごつえり 探訪

市街(橋北)一興雲閣 —コロネードめぐらした 開放された明治建築—

文と写真 吉川 晴雄 (11)



「不幸にして自分は城山の公園に建てられた光栄ある興雲閣に対して素漠たる嫌悪の情以外に何物も感ずる事は出来ない…」
芥川龍之介の「松江印象記」にある興雲閣(写真左)への感想である。実に辛辣である。

二の丸に凜とした 白亜の木造洋館

お城から城山公園を下りていく途中、松江城の二の丸にたまたま興雲閣は、1903(明治36)年に天皇の行幸を願っていた市が建設した。2階建ての擬洋風の建築で、ロシア宮殿風といわれた。正面に車寄せがあり、周囲に優美な柱頭飾りと、ふくらみのある丸柱のコロネード(列柱廊)を巡らしている。

玄関車寄せの基礎部分には、大根島の火山岩「島石」が使われ、軒下には唐草文様の飾りが随所にみられる。当時の中央政府が好んで採用した擬洋風建築としては、最晩年の作品といわれる。

転々とした使途… 今は文化ホールに

当初は、天皇の宿泊所を兼ねた工芸品陳列所として建てたものの、明治天皇の行幸は実現せず、その後使途は転々とした。1912年に改修され、公的な歓迎所、各種展示会場に使用され、昭和に入り戦時色が濃くなると松江地方海軍人事務庁舎、大日本防衛協会島根県支部庁舎、終戦後の混乱で島根県庁が焼けた後は、県庁仮分室、松江市教

育委員会事務局庁舎として使用された。そして、1973年からは「松江郷土館」として活用され、現在は文化ホールとして市民に開放されている。

紫のじゅうたんが よく似合う優美さ



玄関ポーチの上にある二階応接室(写真)は、白い壁に紫色がかかった厚いじゅうたんが敷き詰められて、そこはかとなく高貴なイメージが漂っている。

紫色は、平安時代に最も優雅な色として貴族たちに愛されていた、いわばステータスシンボルであった。

清少納言は「枕草子」の中で、「花も糸も紙もすべて、なにもなにも、むらさきなるものはめでたくこそあれ…」と、紫のものがだつたら何でも美しいと記している。

興雲閣は、いわば地方の迎賓館として、装飾・彫刻を多く用いた華麗な仕上げとなっている。

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党東部地区委員会・松江市袖師3-6 電話24-2456

子育て支援施策の充実を 社保協、市と懇談。党市議団が同席



島根県社会保障推進協議会（社保協）は、毎年県内の自治体を訪問し懇談しています。今年度の松江市における懇談が、2日に行われ、構成団体である新婦人・しまね労連・医労連等から10名が参加。片寄直行・橋祥朗・吉儀敬子の市議会議員も同席しました。（写真）

今回は、子育て問題を重点に実施されました。就学援助学用品費の入学前支給については、来年度の実施とはならず「再来年度実施するために準備する」という回答でした。共産党議員団が要望した子

育て相談専用窓口が昨年7月に設置され、件数も多く内容も離婚前の養育費の問題などが出され、職員を増員して対応しているという実態を担当職員が明らかにしました。

懇談に参加した育児休業中のお母さんから「まともな保育所に入れず一時保育でしのいでいる場合でも、3番目の子どもの保育料を無料にして欲しい」との切実な要望も出されました。

懇談の実施に際して、社保協として、あらかじめ市当局にアンケートを送って記入し

田中さん必ず市政へ 川津後援会が囲むつどい



日本共産党川津地区後援会は5日、日本共産党の田中はじめ市議予定候補を囲む集いを市内で開催。15人が参加しました。（写真）

はじめに片寄直行市議が勇退の挨拶をし、バトンを田中さんに、と決意を述べました。

田中はじめ氏は、生い立ちや最近の国政・市政上の問題点をユーモアを交えて語り、先月行われた第27回党大会の参加報告をしました。自由

党の小沢一郎氏が登壇したときは会場が湧いたとの話に会場も大賑わい。野党共闘がこれだけすすむ要因が安倍自民党内閣の暴走であることが共通の認識になりました。

参加者からは「使用済み核燃料の処分方法ははっきりしないで原発の再稼働は絶対に許せない」「市長は国いいなりではなく、地方自治の原則にしっかりとたつてほしい」「緻密は除雪対策を」など切実な意見が交わされ、田中氏は「はじめての集いに感激。勝利を勝ち取りたい」と感想を述べていました。

竹矢 児童クラブ送迎を安全に 橋市議が市へ申し入れ



このほど、竹矢小学校の保護者から、橋祥朗議員に、竹矢児童クラブの送迎通路として利用している部分（写真）が、雨や雪の際、水たまりでドロドロになり、歩きにくいので砂利や水はけのよい土で埋めてもらいたいとの要望がよせられました。

橋議員は、場所を示す地図と、利用している通路がくぼんで水たまりになっている昼と夜の写真（上）を持参し、

でもらい、その結果をもとに懇談がおこなわれ、社保協としての確かな質問をすることが

でき、市当局も丁寧に答えるという状況で、懇談をさらに深めることが出来ました。

その後、広江副教育長から、「小学校と相談の結果、通路が暗いので街灯をつけてほしいとの要望が以前からあり、それと合わせて対応したい。反対側には舗装してある通路もあるので利用してほしい」との回答がありました。

橋議員は「保護者が安心して送り迎えできるように見守っていききたい。またこれからは安全・安心のために、地域の要望を伝えていきます」と話しています。

「島根再生への展望」

しまね自治研総会 関・島大准教授講演



しまね地域自治研究所（保母武彦理事長）は4日、第13回総会を松江市内で開催。会員ら約30人が参加しました。（写真）

島根大学法文学部の関耕平准教授が講演（写真）。しまねの地域課題と再生への展望と題して地域再生の課題を指摘しました。市町村合併や支所の縮小再編、公共施設の再編、行財政改革などが地域の「解体」につながっている現実を語り、「再生」の方向性について骨子を語りました。

松江市の中核市移行について「コンパクト化とネットワーク化」「高次都市機能の集積・強化」などを目的としており、近隣市町村は勝手に周辺と位置付けられ、中核都市への集中投資が加速すると指摘しました。

農民連

税金申告学習会始まる

岩田 島根1区 予定候補 橋市議があいさつ

今年も「農民連税金申告学習会」が始まりました。本庄地区では、4日、野原集会所で10名が、5日には長海公会堂に15名が参加し行われました。



この税金申告学習会は、松江市内では農民連本庄支部が、野原地区を皮切りに3月4日まで8か所で開催し、他地域でも持田や、生馬、古江などで開催される予定となっています。野原、長海の学習会

には、岩田たけし衆院1区予定候補、尾村利成県議、橋祥朗市議が駆け付け、それぞれ連帯の

挨拶を行いました。橋市議は「原発のない安心・安全の松江をめざし、TPPに反対し農業を守り、豊かな中海を取り戻すために力を尽くします、お力添えをよろしく」と訴えました。

新婦人・東出雲支部 総会 吉儀市議が議会報告

新日本婦人の会東出雲支部の総会が30人が参加して、5日開かれ、吉儀敬子議員が市議会報告を行いました。

し、趣旨説明をさせなかったこと、本会議では、共産党議員団の3人と無党派議員1人、市民クラブの2人の議員の計6人は、戦争法反対の立場を貫いたことを報告しました。

吉儀議員は、新婦人松江支部が「安保法案の廃案を求める陳情」を提出した時、ある委員が、「自分の意見は決まっているから聞く必要はない」との意見に松政・真政・公明・市民の各クラブの委員が同調

と訴えました。そしてきたる市議選で、吉儀敬子を含む日本共産党の3議席を必ず市政に送ってほしいと訴えました。

ずいそう

市民とともに歩んで…



「後から合併したのだから…」

吉儀 敬子

東出雲町は、今年、合併して6年目となります。私が、東出雲町民の要求を、一般質問や様々の機会をとらえて主張すると「東出雲町は後から合併したから」という声が直接あるいは間接的に聞こえてきます。

道としてすべて施行して欲しい」と県に要求。残りの1200mの施行が宙に浮くという事態になりました。私は、合併時の約束であり早期に施行をと要望した時「東出雲町は後から合併したから、出来る相談ではない」との答弁でした。

「東出雲町は、後から合併したのだから」は、公民館問題でも、「早く松江市方式に移行すべき」という無言の圧力です。公民館問題は、地域に暮らす人々の住民自治の問題です。どんな地域にしたいのかそのために公民館はどのようにあるべきか、上からの押し付けでなく地域に住む住民が本気で考える。特に若い世代の活動をどのようにに保障するのか、先進事例を学びながらそれぞれ特色ある4地域で、議論が積み重ねられ検証し、「後から合併したのだから」を吹き飛ばして前に進みたいものです。

探訪 東出雲町

東出雲町一陣幕久五郎 一負けず嫌いの強豪力士 県出身の唯一の横綱

文と写真 吉川 晴雄 (12)



昭和の名横綱「千代の富士」が引退して年寄・陣幕を襲名した時、初めて陣幕が島根県出身の横綱であったことを知った。その陣幕の石碑(写真左)が、出身地の東出雲町の下意東にある。1829年、貧しい百姓の家に生まれ、幼名を植太郎といい、人並みすぐれて体が大きく、年上のものと相撲をとつても決して負けなかったと伝えられている。

不知火関を倒して 一躍有名になった

19歳のとき、反対する父親を説き伏せて広島県尾道の力士・初汐久五郎の弟子となり、その後、江戸に出て修業を積み、28歳のとき、初めて陣幕久五郎を名乗り相撲をとった。

その後、場所ごとに抜群の成績を残し、ついに幕末の慶応3年、39歳で第12代横綱となった。

終生一度もマツタなし 高い勝率誇った横綱

陣幕の相撲は積極的な攻めに出るといふよりも、構えて待つ盤石堅実な取り口で取りこぼしがなく、当時の人々は「負けずの陣幕」と呼んでいた。入幕以来引退までの勝率は95%と高率を誇り、大横綱谷風と並ぶ優秀7場所、横綱不知火とは10勝2引き分けで負け知らずだった。

引退後も、大阪で「大阪相撲頭取総長」として大阪相撲の発展に尽力。そのかたわら、故郷の下意東にも出向き、大規模な奉納相撲

久五郎碑の近くにある 五輪さんという塚は…



この陣幕久五郎の石碑の少し離れた所に「五輪さん」と呼ばれる塚がある。地元の人々は「美人塚」(写真右)ともよんでいる。

話は、室町時代、上意東に、美人の娘がおった。年頃となり、村の働き者の若者と結婚。少しでも妻と一緒にいたいと、野良仕事の時も妻の絵をそばに置いて働いた。ある日、その絵が風に飛ばされ、都の將軍のもとへ。將軍はその妻を探し出し、京へ連れ去った。男は、そのあとを追いかけて、一人して命からがら逃げ帰ったが、意東川のほとりまできて、妻は息をひきとった。男が妻を葬ったところが塚となり、村人が供養したという。

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党東部地区委員会・松江市袖師3-6 電話24-2456

就学援助、奨学金の制度改善を

橋、吉儀、片寄市議ら市教委へ申し入れ



教育長に要望書を手渡す（右から）吉儀、片寄、橋市議。

日本共産党松江市議会議員団は、10日、清水伸夫松江市教育長に対して「就学援助学用品費と奨学金について支給時期と内容の改善」の申し入れを行いました。子どもの貧困が表面化する中、議員団は、就学援助の学用品費は、支給時期を入学に間に合うように今まで一般質問で取り上げてきました。今回の申し入れで「実施時期を、平成30年度に実施する方向で、

29年度の予算に反映させるために努力している」という回答を得ました。また議員団は、学用品費支給額の引き上げを国が検討しており、松江市としても引き上げるよう要望しました。教育長は「国が、決定すれば市として対応する」と答弁しました。

奨学金の問題では、国の給付型奨学金は支給対象や給付のあり方等学生の願いに程遠い状況であり、松江市独自の高校生以上が対象である「ふるさと奨学金」（無利子貸与）の支給時期の改善や、採用人

島根原発のダクト腐食など

市安対協に参加して―山崎泰子

松江市原子力発電所環境安全対策協議会が6日に開催されました。（写真）



主な議事は、島根原発2号機の中央制御室換気系ダクトの腐食についてでした。点検の結果、昨年12月8日に偶発的に発見された腐食孔（約100cm×約30cm）の他に18個の腐食孔を確認した上にダクトに補強材を取り付けるリベット（1カ所、10個）が外れていたことが確認されたことが報告されました。原因の調査と再発防止対策の検討をするというのです。

数の増員、返還のいらぬ給付型とする等の改善を要望。広江みづほ副教育長は「今年度、1月中旬に申請すれば4月

総選挙・地方選での躍進を

新委員長に 岩田氏選出 東部地区党会議ひらく

日本共産党東部地区委員会は12日、第82回地区党会議を松江市内で開催。総選挙での躍進、地方選挙での前進



に支給し、人数も15人から25人に増やした。給付型については、国の動向を見て検討したい」と答えました。

のために全力をあげて頑張る決意を固めました。

来賓として参加した後藤勝彦島根県委員長は、市民と野党との共闘が政治を動かしている情勢にふれ「新しい時代が始まっている。それにふさわしい党の組織的飛躍を」とメッセージを送りました。

が、写真を見ても、かなりの腐食で、いつから始まっているのだろうかと大変不安です。「前回点検したのはいつですか」と尋ねると「10定検ごとという決まりになっているので、これからやる予定であった。」というような返事であった。実態は2号機が完成して28年ですが、一度も断熱材を外しての点検はなかったという事です。

今の規則通りの点検ではかなり腐食が進んでいることになり、すべての事項の点検の周期が今の規則で大丈夫だろうかと心配になりました。

「八束の明日を考える会」

中央の田熊氏を囲んで勉強会開く

7日、「八束の明日を考える会」（藤井伸士会長）が、橋祥朗市議を引き続き市政へと勉強会を開催しました。

町おこしなど様々な活動を進めている地域住民22名と日本共産党中央委員会選対局の田熊和貴氏が参加しました。

田熊氏は「参議院選挙以来、市民と野党の共闘が広がったが、この八束町では、保守・革新を越えた一回り広い共同の力で市議を誕生させるといふ、全国でも一歩進んだ経験を持っている」と述べ、「共産党はダメ

という反共宣伝は今もあるが、八束の皆さんは、「赤信号、みんなで渡れば怖くない」を合言葉で頑張り、乗り越えたのは先駆的」と話し、参加者を激励しました。

橋議員は、保健福祉センターの「特老」への転換、管理・運営が岡山の業者に決まった事、プール、デイサービス、訪問介護が再開されることを条件に、医師確保に協力したなど報告しました。

参加者は、市政への要望、町づくり、特産品づくりと、にぎやかに懇談しました。

新委員長に選任された岩田剛氏（衆院島根1区候補）は、量質ともに強大な組織建設と明るく元氣な支部活動が指導できるよう組織の長としての決意を述べました。（写真）

討論では13人が党大会決定を実践する立場を表明。今期で松江市議を引退する片寄直行市議は、松江市議選での3人全員勝利と大幅な得票増をめざす決意を述べ、橋祥朗、吉儀敬子市議も議会論戦の結果と共産党躍進の意義を語りました。2月から赤旗専任通信員となった河野純一氏が未来を創る決意を述べました。

総合画
市計

市民の要望に沿う計画を

橋市議が特別委で主張

「松江市総合計画特別委員会」（市議会）が6日開催され、次期総合計画について審議が行われました。総合計画はこれまで10年を基本に作成され、前期は2016年度で終了。次期は、2015年に作成された人口減対策総合戦略に適合させる形で、2017年から2021年までの5年計画とし、毎年点検し、目標に接近させるとしています。

橋市議は、「子育て環境日本一、男女共同参画社会などをめざすとしているが、そうであるなら、多くの市民が望んでいる要望の実現を」と訴え、「中学3年までの医療費の無料化、待機児童の解消は単年度で解決すべき。全ての教室へクーラー設置など教育環境の整備は急がれる。女性リーダー育成をあげるなら市役所内の女性幹部の増加を」と主張しました。

また、橋市議は前回の会議で、原発に対し市民目線での厳しい対応を求めています。だが、今回、「周辺住民の安全確保がすべてに優先する」との基本的考えのもと、安全協定の厳格な運用に努める」と記述を加えています。

いま必見の映画！ 「戦場ぬ止み」

2月19日(日) 13:30～
松江・プラバホール 800円
主催「沖縄と連帯する島根の会」
連絡先・0852-25-5347(中林)

ずいそう

市民とともに歩んで…



私の3人の父

田中はじめ

田中の家には、二人の立派な跡取りがおりました。しかし、一人は海軍少尉、今一人は陸軍上等兵として戦死。跡取りを二人とも失った祖母は、母を養女に迎えました。そこへ父が養子に参りました。私には母方、父方、そして田中の三組の祖父母がいます。普通は二組と気づいたのは、物心もついで大分たつたころです。

私は、戦死したお二人を、遺影の軍服の色から「白いおじさん」「黒いおじさん」と呼んで育ちました。「戦争がなければ、息子を二人共失うことはなかったのに」と祖母を思ったある日、「戦争がなければ、私はこの世にいない」と突然自覚したのはちょうど思春期の頃で、戦争があつて生まれてきた私の存在をどう

考えたらいいか悩みました。戦争は、多くの人生を狂わし続け、それは永劫果てることはありません。ある時期から、私は、二人の「おじさん」を父と思うことにしました。大陸から命の危険にさらされながら家族を守って日本に帰ってきた実の父と共に、私に命をくれた三人の父は、「戦争に反対せよ」と、その人生そのもので語ってくれています。そのある時期とは、私が日本共産党に入党したときです。私は日本共産党の一員として、生涯、戦争に反対し続けます。

まごつえり探訪

湖北・西部一潟ノ内 —かつての佐太水海は 今は水鳥の飛来地に—

文と写真 吉川 晴雄 (13)



国道431号線を宍道湖沿いに出雲へ向かい、浜佐田の佐陀川を越えてすぐ右に折れると、葭原に囲まれた小さな湖沼が広がる。「潟ノ内」(写真左)とよばれる一帯で、古代には広大な水海が広がり、佐陀川沿いの入り口は水門(みなど)を形成し、出雲国の水上交通の要衝だった。その後水域は大幅に縮小し、こじんまりとした湖沼となった。

その後、宍道湖周辺の陸地化が進み、大半は水田となつていき、潟ノ内のみが残された。宍道湖の水運は、昭和に入り、鉄道や国道が整備されるまでこの地方の幹線交通であった。明治期には小泉八雲が舟旅で各地を巡ったことがその著書で知られ

バードウォッチングに絶好の湖沼が広がる。佐陀川を挟んで東潟ノ内と西潟ノ内の二つの湖沼があり、いずれも宍道湖と成因を同じくする貴重な天然の湖沼である。周辺にはヨシが郡生し、冬鳥や旅鳥の渡来地になっている。近年、この野鳥観察スポットが全国的にも有名になり、晴れた休日などには多くのバードウォッチングの愛好家たちがカメラを手に訪れるようになっていく。

出雲国風土記時代には 広大な「佐太水海」が



佐田国の首領が眠る 古墳がつきつきと…

この佐太水海の周辺は、古墳時代に様々な古墳が築造されている。とくに佐太水海の西側の小高い丘に築造された古墳志大谷一号墳は全長46mの前方後方墳(写真右は「古墳の丘公園」に移築復元)で、佐太水海の舟運を強く意識して造られたことを物語る。こうした周辺の古墳を築造した勢力こそ、この地域の水上交通を統べていたと考えられる。そして、風土記の国引き神話に登場する狭田国の形成時期を考える上で、これらの古墳に埋葬された首長による島根半島中央部を治めていた時代の考証が欠かせない。

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党東部地区委員会・松江市袖師3-6 電話24-2456

松江北道路 住民説明会



沿線住民から疑問・不安の声も

田中はじめ市議予定候補も参加

松江北道路のルート案についての説明会が、県土木部高速道路推進課によって行われています。17日に古曾志町の朝日が丘集会所で開かれた説明会には、団地住民の田中はじめ共産党松江市委員会政策委員長が参加しました。

当初、島根県は3コースを提案していましたが、古江地区住民にとっては異論があり、第4コースが検討されました。松江市長は古江案を支持し、島根県に要請していた経過があります。

県の検討の結果、古江提案は財政負担及び道路整備目的上

効果が薄いことを理由に、ルート案から外すことが報告されました。住民参画型合意形成で事業をすすめてきたが、四年を経過しても合意が進まない現状に、県の担当者から反省のコメントがありました。

19日、県民会館大会議室で、「憲法改悪は反対! 5・3実行委員会」主催による「緊急学習会、憲法9条は世界の

いま自衛隊と憲法危ない

メイクピース集い 瀬瀬名教授が講演

宝・「Make Peaceの集い」が開かれ、150名の市民が参加しました。(写真)学習会では瀬瀬厚(こうけつ

住民からは、「北道路整備の目的に挙げられている渋滞緩和のためなら、ルートを西へ延ばすべきではないか」などの意見が出されました。

古江地区で行われている一連の説明会では、白鳥への影響、道路による地域コミュニティ分断、遺跡が出る可能性など、多くの疑問、不安の声が寄せられています。

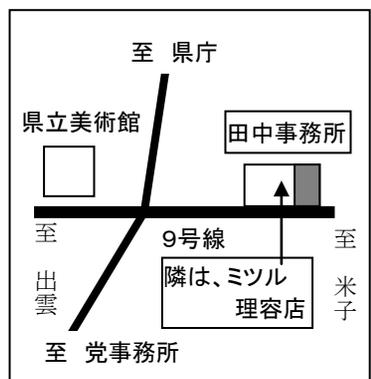
必勝へいつきに攻勢を

松江市議選に出馬を予定している日本共産党の松江市政委員長・田中はじめ氏の事務所開きの集いが18日、松江市



内で開催され、84人が参加して必勝を誓いあいました。今期で勇退する片寄直行市議が事務所責任者として開会のあいさつを行い、総合選対の尾村利成県議が情勢や争点を報告しました。

尾村県議は、共産党が民進党、社民党と共闘してきた経過や近況を述べ、解散・総選挙、松江市長選挙でも共闘の思いが強い、と述べました。原発再稼働を許さない選挙とするため共産党の躍進は絶対的課題だと強調しました。先般、共産党東部地区委員



長に選任された岩田剛氏(衆議院島根1区予定候補)は、3議席必勝のために総力を挙げる決意を表明しました。各分野の住民団体や後援会から10人がスピーチ。田中はじめ氏への期待の言葉やエピソードが披露されました。

あつし) 山口大学名誉教授が「今自衛隊と憲法が危ない」私たちの立ち位置は何処」と題して講演しました。

瀬瀬氏は昨年の参議院選挙で、山口選挙区の野党と市民の共同候補として奮闘しました。瀬瀬氏は、「事実よりウソで



通そうとする力が働いている」と切り出し、例えばロシアの南下政策阻止のために日英同盟という押し付けで、イギリスのために日本が満州で犠牲を払った戦争が日露戦争で、現在ではアメリカの肩代わりにはアジアや中東で日本の自衛隊が命を投げ出すこと、これが集団的自衛権の歴史と解明しました。天皇の退位問題にも触れて講演を終わりました。質問に答え、野党共闘にも課題はある、民進党に軸ブレがあるが衆院選挙でもこの道しかない。と強く主張しました。

県連結成 5 年計画確立 「松江生健会」が第46回総会

松江生活と健康を守る会(高取謙次会長)の第46回定期総会が19日、松江市内で開催されました。記念講演にたった日本共産党の尾村利成県議は、市民の生活再建を何より重視している滋賀県野州市の債権管理条例を紹介。野州市の生活再建の支援で滞納解決した事例や島根県政・松江市政の問題点を比較。県下でもっとも高い松江市の国保料の問題について言及。5億8千万円もの基金の取り崩しをせず一般会計からの繰入をしない政治姿勢を批判しました。そして、原発の再稼働反対を貫き、安

心・安全の市政を共産党の躍進でと訴えました。板垣治之事務局長は長期的な5箇年計画を提案。生活と健康を守る会の島根県連の結成を見据えた組織建設や一年間の活動方針を満場一致で採択しました。

総会には日本共産党松江市議団の片寄直行市議らが参加。松江市委員会政策委員長田中はじめ氏らが連帯の挨拶を述べました。

会長に高取謙次氏、副会長に和田二郎氏、事務局長に板垣治之氏、事務局次長に岩本晃司氏、会計監査に大家英司氏を選任しました。

八東

海岸の階段修繕へ

橋市議の要求が実る

大根島の北側、中海に面した県道松江八東線沿いに堤防がつくられています。

この堤防を越えて各地域の船溜まりがあります。漁師の皆さんが使っているこの堤防の階段が、おかしな作りになって



海岸堤防の階段の修繕が決った箇所。(松江市八東町)

いるとの相談が橋祥朗議員に持ち込まれました。

現場(写真)を見ると、堤防の高さに合わせるために、

足りない最上部の一段をアスファルトなどで継ぎ足し、下の段は一部狭めて作っています。これでは降りるときにすべるし、降りても奥行きがないために踏み外しかねません。

橋議員は国土交通省の道路パトに現地を見せて、工事のやり方が間違っているの、利用者の安全のために早い対応を求めました。

八東支所へも問い合わせがあり、当面二か所を国土交通省は改善すると連絡してきました。

中海にはこうした堤防が八東町以外の各地域につくられており、階段の状態について、きちんとした調査と対応を改めて要望しました。

日本共産党演説会

3/5(日)午後2時~

松江テルサホール

田村智子・参院議員
垣内京美・衆院比例
岩田 剛・島根1区
弁士

ずいそう

市民とともに歩んで…



地域の要望に

こたえて

橋 祥朗

八東保健福祉総合センター(ちとせ八東)は、八東町、市社協、指定管理と管理形態は変化しましたが、

三月で指定管理が終わり閉館という事で、どうなるのか心配の声が寄せられていました。その時、新聞に

「国民が望むのは生命と健康を守る福祉施策、歩行用の温水プールを利用してのものとして、公共施設の整理縮小だけでなく、存続を」の投稿がありました。

市は、地域の要望の強い「特別養護老人ホーム」に改装することを計画し、土地は賃貸、建物は無償譲渡、公募で事業者を募っていました。「特老」の建設は、私

の公約でもあり、昨年の議会で公募の条件にプールの存続が入っていることを確認しました。

公募に応じた業者から「内部の改装に一年かかるが、これまでのデイサービスや訪問介護は再開」「雇用や食材など地元を優先にしたい」など話を聞き、地元の内科、歯科医の紹介などを協力しました。こうした経過を投稿者にお知らせし、喜んでいただきました。

今後はこれまでの保健福祉活動がしっかり継続されるよう見守っていききたいと思えます。

探訪 市街(橋南) - 田和山遺跡

三重環濠の山頂から 古代出雲が見渡せた…

文と写真 吉川 晴雄 (14)



松江市立病院の建設に伴い、1997年から発掘された田和山遺跡から、三重の環濠跡が検出され、一躍注目を浴びた。

その遺跡山頂からは、宍道湖、島根半島、大山が一望できたことから、古代出雲の砦があったのでは…とも報じられた。

今は、遺跡公園として散策コースが整備されている。(写真左は、山頂から宍道湖、島根半島を望む)

珍しい三重環濠有する 弥生時代中期の遺跡

田和山遺跡(写真下)は、山頂部、環濠部、環濠外側の斜面部からなっている。

一般に、弥生時代の環濠集落は、環濠内部に住居跡が配置されるが、田和山遺跡では環濠内部の狭い山頂には2棟の建物跡が検出されたのみで、約20棟の竪穴住居跡は環濠外側から見つかっている。一体、膨大な労力を費やして掘った環濠で、山頂の何を守ろうとしていたのか。

環濠内からは、つぶて石や石斧が出土しており、弥生時代の山城だったとか、祭祀の拠点であったとかとの説が提唱された。

環濠で守っていた 大社造りの柱跡は…

柵と三重環濠に囲まれた山頂には、5本と9本の柱跡が見つかった。9本の柱といえ、大社造りの建物を連想させる。単なる祭祀のための神殿を守るにしている、あまりに厳重な防護体制である。

この遺跡の機能が失われた時期と、荒神谷と加茂岩倉に大量の銅剣、銅鐔が埋められた時期が一致することから、その関連を指摘する見方も浮上した。



つまり、荒神谷の358本の銅剣や加茂岩倉の39個の銅鐔は、かつてここに保管され、守られていたのではとの見方である。

魏志倭人伝に出てくる 巨大な宗教施設に類似

他に例を見ないこのユニークな田和山遺跡の構造は、「邪馬台国を伝える『魏志倭人伝』に出てくる砦によく似ている。ここから、巨大な宗教施設としての『古代のパワースポット』との指摘もある。そして、出土品の中に朝鮮楽浪の硯とよく似た石板があったことから、「出雲国には二千年前に文字を書ける人がいたのでは」との指摘も出された。すべては憶測にすぎないが、いずれにしても貴重な遺跡といえよう。